

特集2
副教材
活用法

生徒と教科書をつなぐ 『学習ノート』活用法

尾形 美和



本校の1年生は、『学習ノート』を予習のための家庭学習用教材として使用しています。授業では、きちんとやってきたかを点検し、正解を配布。生徒が各自で答え合わせをする時間を取っています。ステップを踏んで何度も読み、理解を深める構成ということもあり、生徒の取り組みは良好です。ただ、自分のことについて答える **Pre-Reading** の取り組みだけが不十分だったので、授業で、次のように一工夫してみました。

★活用例1★ 環境保護の優先順位は第何位？

Lesson 4 Borneo's Moment of Truth Part 3

Are these things important for you?

- a. food to eat b. a healthy body c. money
d. studying at school e. saving the rain forest

ほぼ全員の答えが全てについて“**Yes**”なので、1位から5位までの優先順位を付けてもらいました。次にその順位をペアで比較。すると、1位に food を挙げた生徒と money を挙げた生徒が自然にディスカッション開始。さらに全体で比較したところ、saving the rain forest が最下位に。ここで、この結果を受けて、考えてもらいました。“OK. Now I would like you to think about what we can learn from this result.” 生徒の表情が変わりましたが、なかなか答えが出ません。そこで、“I well understand that for most of you the least important thing is saving the rain forest. That's OK. And what is important here is that you realize it.” とコメント。すると、生徒の中から「だから環境問題は解決が難しいのか〜」とい

う声か。

★活用例2★ 森林伐採は単純な問題？

Lesson 4 Borneo's Moment of Truth Part 4

Do you think it is bad to cut down trees in rain forests? ☐ Yes, I do. ☐ No, I don't.

挙手で確認すると、ほとんどの生徒が“**Yes**”。そこで、“Do you still have the same answer?” と聞くと、数人から“**No**”という反応が。“OK. Keep this question in mind. I'll ask you the same question after studying this part.” そして、予告通り、授業の最後に再度同じ質問をすると、今度はほとんどの生徒の答えが“**No**”に。その後のやりとりは以下の通りです。

T: What made you change your mind?

S₁: Because, they need money to live.

S₂: Hunger is a serious problem.

T: Great. So, what is important?

S₃: Striking a balance between making some money and saving the forest.

コミュニケーション英語 I では、教科書の英語を生徒の使える英語につなげたいと考えています。その中で、Pre-Reading は、生徒と教科書の距離を縮める役割を担います。身近で実感の持てる内容についてのコミュニケーションをすることで、教室に活気が生まれ、生徒は日本語が混じるものの、何とか英語を使おうとします。これからも、生徒とともに充実した言語活動ができるように、試行錯誤を続けたいと思います。

(おがた みわ・山形県立山形南高等学校教諭)